

科目番号	11	科目名	医療イノベーションの基礎		
英文科目名	Fundamentals for Medical Innovation				
大学・短期大学名	滋賀医科			大学	
連絡先	学生課学部教育支援係				
	TEL :	077-548-2068		FAX :	077-548-2799
担当教員	尾松 万里子			(医 学部 特任教授)	
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	第1講義室	会場			
授業期間	2024 年 4 月 10 日 (水) ~ 2024 年 7 月 24 日 (水) <毎週 水曜日> 4 時限・講時 14 : 40 ~ 16 : 10				
超過時の選考方法	書類選考				
成績評価方法	定期試験 (筆記)	—		%	
	レポート試験 (期末)	60		%	
	平常点 (出席・授業態度)	—		%	
	その他 (発表)	40		%	
別途負担費用	なし		あり () 円		
その他特記事項	最終の2回は出席を必須とし、出席回数が11回以上(出席率70%以上)の場合は、期末レポート課題の提出資格を認める。なお、最終成績は期末レポート課題の評価(60%)に発表(内容、発表資料の分かりやすさ、発表の仕方)の評価(40%)を加味して評価する。□				
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】 この授業では、15回にわたって医療人としての専門教育だけでは学べない医療を支える外的な要因(産業界の考え方、コミュニケーションの取り方、製品開発の進め方、それらに関連する知的財産権や薬事規制など)を学習する。更に、自身の考えをまとめて他の人の伝える発表の仕方を学習し、実習する。 この一連の学習は、文部科学省の「次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXTプログラム)」の一環として実施する。一般的な経済活動の仕組みや視点を理解し、医療分野に限らず新しい「コト」にチャレンジし、自らの志を実現できる医療人の育成を目的とする。					
【到達目標】 医学の発展はめざましく、それに対応するように医薬品や医療機器の分野でのイノベーション(革新的な製品やサービス等)が創出されてきており、医療人の医療知識・技術と共に最先端の医療を支える両輪として働いている。この授業では、自らが医療人となった際に広い視野で物事が捉えられる視点や異分野の人とコミュニケーション力や発表能力を養うことを目標とする。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4 月 10 日	オリエンテーション・医療イノベーション			
2	4 月 17 日	医療と金融			
3	4 月 24 日	異分野とのコミュニケーション①			
4	5 月 1 日	金融経済教育講座			
5	5 月 8 日	リーダーシップ論			
6	5 月 15 日	先端医療研究開発			
7	5 月 22 日	健康投資型の医療			
8	5 月 29 日	異分野とのコミュニケーション②			
9	6 月 5 日	広告医学概論			
10	6 月 12 日	滋賀県における医療イノベーション			
11	6 月 19 日	デザイン思考			
12	6 月 26 日	ロボティクスを応用した医療ヘルスケア機器開発			
13	7 月 3 日	医師起業家のリアル			
14	7 月 10 日	グループワーク(4~5人/グループ)			
15	7 月 24 日	プレゼンテーション			

<教科書・参考書>

1. 医療イノベーションの本質－破壊的創造の処方箋(碩学舎ビジネス双書) 著:クレイトン・M・クリステンセン他、訳:山本雄士他
(原著)The Innovator's Prescription: A Disruptive Solution for Health Care, Clayton M. Christensen et al.
2. BIODESIGN バイオデザイン日本語版(薬事日報社) 著:ステファノス・ゼニオス他、【監修】一般社団法人日本医療機器産業連合会他
(原著)Biodesign: The Process of Innovating Medical Technologies, Paul G. Yock et al.
3. リーン・スタートアップ ムダのない起業プロセスでイノベーションを生みだす(日経BP社) 著:エリック・リース 訳:井口耕二
(原著)The Lean Startup: How Today's Entrepreneurs Use Continuous Innovation to Create Radically Successful Businesses, Rric Ries